



松本市立波田小学校 学校だより 令和7年 8月22日

まつかぜ No. 5

“にこにこ・ワクワク”の新校舎との出会い ～2学期が始まりました～

8月21日、全校児童が新しい講堂に集まり始業式が開催されました。

最初に入場した6年生が静かに待つ姿が見本になり、とても落ち着いた雰囲気スタートしました。

始めに、2・3年生の代表児童から作文の発表がありました。「困っている人を助けたい」、「新しい問題にチャレンジしたい」、「計算・漢字・リコーダーやあいさつを頑張りたい」など新学期に向けた決意が語られました。聞いていた子どもたちも、それぞれの2学期の目標を思い返すなど自問自答できたことでしょう。

続いて児童会から、北校舎・講堂の完成を記念して、これまでの工事を振り返り、これからを考えるための発表がありました。2年前の2学期に北校舎から西校舎に机やクラスのもの運び入れたことや、校舎に感謝のメッセージを書いたことを思い起こしました。そして、新しく生まれ変わった講堂や北校舎の写真を紹介しながら、「みんなが気持ちよく過ごせる波田小学校にするために、どんなことを心がければよいか考えてみてください」と全体への投げかけがありました。

各クラスで語り合い、みんなが周りの人の思いを大切に、やりたいことにチャレンジできる2学期にしていきたいと思います。



旧北校舎



2年前
の引越

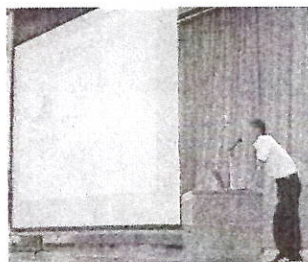


新北校舎



新教室

2学期は、挑戦に加えて、“周りの人を大切に”



平林校長先生は、今年心掛けてほしい、①挑戦、②周りの人を大切に、③自分を大切に、を最初に確認し、1学期始業式に話された挑戦することの大切さについて振り返りました。誰でも最初から「できない」のは当たり前で、やる前からできないとあきらめずに、すぐにできなくてもいいから一歩ずつ「できる」に近づくチャレンジをしていくことを、一輪車に乗れない子の例を出しながら話していただきました。

続いて、「周りの人を大切に」について考えるきっかけとして、「パンはパンでも食べられないパンは？」や「イスはイスでも座れないイスは？」といったクイズが出されました。

すると、それまで静かに校長先生の言葉に耳を傾けていた子どもたちから、たくさんの考えがあちこちから出されて盛り上がりました。また、この場面から考え方は人によって違うことがわかりました。

校長先生はいろんな写真を示しながら語りかけます。

「この写真を見たときに、『シマウマさん逃げて』と願う人も『ライオンさんつかまえられたかな』と考える人もいるでしょう。また、『動物の世界は怖いな、厳しいな』と感じる人もいるでしょう。つまり、ものの見方や考え方は人それぞれ違うのです。そして、周りの人は自分と違うものをもっていて、自分を成長させる大切な存在なのです。

2学期は『挑戦』に加えて、一人ひとりの『らしさ』を認めたり、友だちの言葉に耳を傾けたりして、周りの人を大切にすることに取り組んでください。そして、温かい気持ちに包まれる波田小学校にしていきたいと思います。」

84 日間の 2 学期が終わるときに、周りの人を大切にできた思いを抱いて、成長を実感できるようにしたいものです。

講堂に新たな息吹をもたらす全校児童の校歌



♪仲むつまじく集まりて 我ら学ばん波田小学校♪



驚きと感動の新校舎

1 年生は机やイスを運んでくれた 6 年生に感謝して、ドキドキしながら新しい教室に入りました。

「わあ～すごい」、「全部新しい」、「ランドセルを（廊下じゃなくて）後ろに置ける」、「黒板が広い」、「チョークじゃなくてマジックで書くんだ」などいろんな気付きの声がありました。

4 年生も 6 年生も、協力したり、お互いを気遣う声かけをしたりしながら、新しい学校生活の準備をすることができました。

引越がありながらも、気持ちよく落ち着いたスタートが切れました。実り多い充実した 2 学期になりそうです。

